



## 2020年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月9日

上場会社名 株式会社 アルバイトタイムス  
 コード番号 2341 URL <http://www.atimes.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役  
 四半期報告書提出予定日 2020年1月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 垣内 康晴  
 (氏名) 堀田 欣弘  
 TEL 03-3254-2501

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年2月期第3四半期の連結業績(2019年3月1日～2019年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第3四半期	3,501	16.5	195	58.4	198	58.3	138	58.2
2019年2月期第3四半期	4,191	1.4	469	4.5	477	4.4	331	1.3

(注) 包括利益 2020年2月期第3四半期 133百万円 ( 58.6%) 2019年2月期第3四半期 321百万円 ( 2.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第3四半期	5.25	
2019年2月期第3四半期	12.56	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期第3四半期	5,591	4,968	88.8	188.23
2019年2月期	5,889	5,020	85.2	190.19

(参考) 自己資本 2020年2月期第3四半期 4,968百万円 2019年2月期 5,019百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期		0.00		7.00	7.00
2020年2月期		0.00			
2020年2月期(予想)				7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,565	16.5	180	67.5	183	67.5	151	58.7	5.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期3Q	32,237,249 株	2019年2月期	32,237,249 株
期末自己株式数	2020年2月期3Q	5,844,059 株	2019年2月期	5,844,059 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年2月期3Q	26,393,190 株	2019年2月期3Q	26,393,191 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益に陰りが見られるものの、雇用・所得環境の改善により、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題等による海外経済の不確実性等、先行き不透明な状況が続きました。

このような経済環境下、雇用情勢については採用意欲の高止まり傾向は継続しており、当社の戦略地域である静岡県においては2019年11月の有効求人倍率が前年同月比0.21ポイント下降の1.45倍となるものの、雇用環境は底堅く推移しております。

このような状況において当社グループでは、魅力ある情報サービスを開発・選択・展開し、商品力・販売力を強化することで地域の競争力強化と収益基盤の拡大を図ることに注力いたしました。

当社主力事業である求人情報事業では、企業の採用意欲が継続している市場環境下、個別多様化している入職ルートに対応するため、求人メディアにおいては、シニアや女性、医療介護、ドライバー等の属性や業種に特化した無料求人誌『DOMO（ドモ）』別冊版を発行いたしました。また、リアルマッチングの機会として、転職・就職イベント『シゴトフェア』や子育てママから就職・転職を希望する女性のための合同企業面談会『シゴトフェア Woman（ウーマン）』等のイベントを静岡県及び愛知県で開催いたしました。

また、2019年5月7日に愛知県、岐阜県を中心とする東海地方において、新聞折込求人広告を手掛ける地域市場シェア首位の株式会社三光アドと人材サービス関連商材を販売する合弁会社を設立し、第2四半期より営業を開始いたしました。当該合弁会社の設立により、静岡県ならびに名古屋市内、名古屋市内近郊及び西三河地域を中心のエリア展開を静岡県、愛知県内全域及び岐阜県主要地域へと拡大いたしました。当該施策に伴い当社の連結子会社である株式会社名古屋adMを2020年2月1日を以って当社に吸収合併する予定であります。

外国人採用支援事業では、2019年3月に日本国内のミャンマー人を対象にした人材マッチングイベント『ミャンマー Job Fair（ジョブフェア）』を継続開催いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高は3,501百万円（前年同四半期比16.5%減）となりました。売上原価は、1,129百万円（前年同四半期比12.6%減）、販売費及び一般管理費は、2,176百万円（前年同四半期比10.4%減）となりました。営業利益は、195百万円（前年同四半期比58.4%減）、経常利益は198百万円（前年同四半期比58.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は138百万円（前年同四半期比58.2%減）となりました。

セグメント別の業績（セグメント間の内部取引消去前）を示すと、次のとおりであります。

## (情報提供事業)

情報提供事業では、『DOMO NET（ドモネット）』と連携した採用管理システムを顧客に提供するサービス『ワガシャ de DOMO』においては廉価版の販売を開始し、売上高は順調に進捗したものの、当社の主力商品である『DOMO』静岡県内版の売上の減少や『DOMOリーフ』の休刊等により売上高は2,891百万円（前年同四半期比17.8%減）、セグメント利益は664百万円（前年同四半期比27.0%減）となりました。

## (販促支援事業)

販促支援事業では、主たる売上であるフリーペーパーの取次において、前連結会計年度における大口顧客の休刊等により売上が減少し、販促支援事業における売上高は640百万円（前年同四半期比10.2%減）、セグメント利益は59百万円（前年同四半期比8.5%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

### 資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は5,591百万円（前連結会計年度末比5.1%減）、負債が623百万円（前連結会計年度末比28.3%減）、純資産が4,968百万円（前連結会計年度末比1.0%減）となりました。また、自己資本比率は88.8%となりました。

資産の部では、流動資産が4,766百万円（前連結会計年度末比5.0%減）となりました。これは、現金及び預金が4,052百万円（前連結会計年度末比7.3%減）、売掛金が510百万円（前連結会計年度末比5.0%減）等となったためです。

固定資産は825百万円（前連結会計年度末比5.2%減）となりました。これは、有形固定資産が585百万円（前連結会計年度末比0.1%減）、無形固定資産111百万円（前連結会計年度末比8.3%増）、投資その他の資産が128百万円（前連結会計年度末比29.4%減）となったためです。

負債の部では623百万円（前連結会計年度末比28.3%減）となりました。これは、未払金が436百万円（前連結会計年度末比0.1%増）、賞与引当金が30百万円（前連結会計年度末比67.5%減）等となったためです。

純資産の部では4,968百万円（前連結会計年度末比1.0%減）となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、剰余金の配当により利益剰余金が5,049百万円（前連結会計年度末比0.9%減）等となったためです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2020年2月期業績予想につきましては、2019年4月11日付「2019年2月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて発表いたしました業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2020年1月9日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,371,126	4,052,715
売掛金	537,442	510,764
その他	111,169	203,293
貸倒引当金	△306	△206
流動資産合計	5,019,431	4,766,566
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	125,111	122,056
土地	444,475	444,475
その他(純額)	16,203	18,944
有形固定資産合計	585,789	585,476
無形固定資産		
ソフトウェア	92,198	100,711
その他	10,606	10,606
無形固定資産合計	102,804	111,317
投資その他の資産		
その他	183,001	128,979
貸倒引当金	△1,290	△694
投資その他の資産合計	181,710	128,285
固定資産合計	870,305	825,079
資産合計	5,889,736	5,591,645
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	435,820	436,275
賞与引当金	94,675	30,776
その他	338,939	155,993
流動負債合計	869,435	623,044
負債合計	869,435	623,044
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	455,997	455,997
資本剰余金	540,425	540,425
利益剰余金	5,095,071	5,049,094
自己株式	△1,076,000	△1,076,000
株主資本合計	5,015,493	4,969,516
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,660	1,576
為替換算調整勘定	△2,275	△2,981
その他の包括利益累計額合計	4,385	△1,405
非支配株主持分	422	489
純資産合計	5,020,300	4,968,600
負債純資産合計	5,889,736	5,591,645

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)
売上高	4,191,857	3,501,547
売上原価	1,292,408	1,129,651
売上総利益	2,899,448	2,371,896
販売費及び一般管理費	2,430,230	2,176,830
営業利益	469,218	195,066
営業外収益		
受取利息	124	152
受取賃貸料	630	630
投資事業組合運用益	5,163	2,808
持分法による投資利益	—	1,188
その他	4,905	2,720
営業外収益合計	10,824	7,499
営業外費用		
違約金	1,489	835
為替差損	—	943
その他	1,301	1,934
営業外費用合計	2,791	3,713
経常利益	477,251	198,852
特別損失		
減損損失	6,419	—
特別損失合計	6,419	—
税金等調整前四半期純利益	470,832	198,852
法人税、住民税及び事業税	136,616	26,730
法人税等調整額	3,307	32,807
法人税等合計	139,924	59,538
四半期純利益	330,908	139,313
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△844	538
親会社株主に帰属する四半期純利益	331,752	138,775

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)
四半期純利益	330,908	139,313
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,388	△5,084
為替換算調整勘定	△2,143	△1,177
その他の包括利益合計	△9,532	△6,261
四半期包括利益	321,375	133,052
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	322,872	132,984
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,496	67



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分のその他に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	情報提供	販促支援	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,517,615	674,241	4,191,857	—	4,191,857
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	39,488	39,488	△39,488	—
計	3,517,615	713,729	4,231,345	△39,488	4,191,857
セグメント利益	909,502	65,208	974,711	△505,493	469,218

(注) 1. セグメント利益の調整額△505,493千円は、セグメント間取引消去3,330千円及び全社費用△508,823千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「情報提供事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては6,419千円であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	情報提供	販促支援	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,891,467	610,080	3,501,547	—	3,501,547
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	30,592	30,592	△30,592	—
計	2,891,467	640,673	3,532,140	△30,592	3,501,547
セグメント利益	664,104	59,639	723,744	△528,678	195,066

(注) 1. セグメント利益の調整額△528,678千円は、セグメント間取引消去3,339千円及び全社費用△532,018千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。